

7/10
赤旗

国民の医療守り抜く 医師・看護師ら国会内集会

止めよう 戦争法案

「白衣を再び戦場の血で汚すな」。医師や看護師ら約300人が



戦争法案反対を表明する医師たち＝9日、国会内

9日、戦争法案に反対する国会内集会を開き、怒りの声をあげました。
主催は、全国保険医団体連合会、全日本民主医療機関連合会、日本医療労働組合連合会、9条の会・医療者の会。
全日本赤十字労組の五十嵐真理子・中央副

執行委員長は、多くの医師や看護師が戦地に派遣され戦死した過去を紹介。戦争体制になれば「医療機関も従事者も軍事医療に組み込まれる。薬品などの保管命令が出れば必要な患者の治療はできず、傷病兵を受け入れるためには一般患者も追い出される。国民の医療

体制に崩壊をもたらすことは明白です」と指摘しました。

医療制度研究会の本田宏・副理事長は「医療人は患者の命を守るのが使命。われわれが戦争法案を阻止しないで誰がする」と発言。日本イラク医療支援ネットワークの佐藤真紀さんがイラクから映像出演。米軍の攻撃で犠牲になった子どもたちの実態を紹介し「私た

ちがやるべきは戦争のない社会をつくること」と話しました。

憲法カフェ創設者の太田啓子弁護士、「憲法9条をノーベル平和賞に実行委員会」の鷹巣直美さん、日本弁護士連合会の山岸良太・元副会長も発言。日本共産党の小池晃参院議員が連帯のあいさつし、堀内照文衆院議員、田村智子参院議員も参加しました。